

# 九州建設専門工事業 ニュース

題字は日高名誉会長筆

発行所 (一社)福岡県建設専門工事業団体連合会 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6-5 ホワイト薬院506号 電話092(406)6776番 発行人 杉山 秀彦

## 年頭所感



### 若手目線の大改革を

(一社)福岡県建設専門工事業団体連合会  
建設産業専門団体九州地区連合会  
会長 杉山 秀彦

明けましておめでとう  
ございます。  
私たち専門工事業界に  
とりまして今年も働き方  
改革元年となります。  
時間外労働規制や建設  
キャリアアップシステム

の本格活用等、様々な制  
度改革がスタートしま  
す。  
以前から、「建設業は  
人に支えられ現場で成り  
立つ産業」と言われ、元  
下関係についてもお互い  
に支えあうべき関係にあ  
ると語り継がれてしまし  
た。  
しかしながら、支える  
は関係者との信頼関係の  
今年も会員の皆様とと



謹んで新年のお慶びを申し上げます

## 令和5年秋の叙勲 国土交通省〈黄綬褒章〉

受賞おめでとうございます!



末永 武 豊 (63歳)  
末永商事(株) 北九州市  
(一社)全国タイル業協会常任理事

## 〈瑞宝単光章〉



烏山 竜 一 (59歳)  
中村工業(株) 朝倉市

## 優秀施工者を 知事顕彰

### 福岡県建設業構造改善大会

福岡県建設業構造改善  
推進大会実行委員会(委  
員長・黒木篤福岡県建  
設業協会会長)は11月30  
日、福岡市内のオリエン  
タルホテル福岡博多ス  
テーションで令和5年度  
の構造改善推進大会を開  
催した。大会内では、長  
年にわたり顕著な実績の  
ある建設現場従事者をた  
たえる「福岡県優秀施工



者知事顕彰」の顕彰式を  
開き「写真」、受賞した

17人に福岡県の生嶋亮介  
副知事から賞状が手渡さ  
れた。  
大会は建設産業に対す  
る県民の理解と認識を深  
め、従事者の意識の高揚  
を図ることを目的に開催  
しているもの。  
主催は福岡県建設業協  
会、福岡県土木組合連合  
会、福岡県建設業協同組  
合、福岡県建設専門工事  
業団体連合会、福岡県電  
気工業業組合などの  
7団体で構成する実行委  
員会。福岡県が後援して

いる。  
主催者あいさつでは、  
黒木実行委員長が、優  
秀施工者顕彰の受賞者の  
功績に対し敬意を表す  
とともに、地域建設業  
の役割についても言及  
し、「安全・安心の守り  
手、社会資本整備の担い  
手としての役割を引き  
続き果たして」などと  
した。

また生嶋副知事も来賓  
あいさつで、受賞者に対  
して長年にわたり技術  
技能の研さんを積みま

## 建設マスターに61人

### 九州地区 国交省ジュニアは17人選定

国土交通省は11月14  
日、令和5年度の建設マ  
スター(優秀施工者国土  
交通大臣顕彰)459  
人、建設ジュニアマス  
ター(青年優秀施工者不  
動産・建設経済局長顕  
彰)121人を発表し  
た。現住所別では、九州  
地区より建設マスターで  
末吉高行氏(尾園建設)、  
前原孝一氏(中村工業)、  
ら61人、建設ジュニアマ  
スターには17人が選ば  
れた。

国交省は、特に優秀な  
技術・技能を有し、後進  
の指導・育成等に多大な  
貢献をした建設技能者  
を、建設マスターとして  
平成4年度から毎年顕彰  
している。建設ジュニア  
マスターは、今後さらな  
る活躍が期待される青年  
技能者を対象に、建設マ  
スターに達するまでの技  
能向上のインセンティブ

## 専門工事業界の発展に尽力

### 才賀組相談役 前建専連会長 才賀清二郎氏が逝去

長く専門工事業界の顔  
として諸課題の解決に尽  
力した才賀清二郎氏(さ  
いが・せいじろう)才賀  
組取締役相談役、前建設  
産業専門団体連合会会  
長)が10月22日、死去し  
た。83歳だった。東京都  
出身。



昭和36年8月に中大文  
学部を中退、同月に才賀  
組を設立し、平成15年1  
月に実弟孝二郎氏にバト  
ンを渡すまで42年にわた  
り社長を務めた。会長を

〔福岡県〕  
▽末吉高行(49歳)、  
とび工、尾園建設▽野崎  
太(40歳)、大工、高崎  
組▽前原孝一(48歳)、  
とび工、中村工業  
〔熊本県〕  
▽田辺良介(50歳)、  
とび工、保工業  
▽建設ジュニアマスター  
〔宮崎県〕  
▽成枝信一郎(39歳)、  
大工、長瀬建設。

◇建設マスター  
九州地区の関係受賞者  
は次の通り。(敬称略)

経て、29年9月からは取  
締相談役に就き、この  
間、日本建設躯体工事業  
団体連合会会長、全国建  
設専門工事業団体連合会  
(全国建団連)会長、建設  
産業専門団体連合会(建  
専連)会長、国土交通省の  
中央建設業審議会などを  
歴任した。なかでも全国  
建団連と建設産業専門団  
体協議会の合併統合に果  
たした功績は大きく、こ  
の専門工事業界唯一の横  
断的組織である建専連で  
は第2代会長として18年  
から15年にわたって活動  
を陣頭指揮した。  
才賀氏が要職や公職を  
歴任した半世紀は、建設  
技能者や専門工事業界に  
とって激動の時代であっ  
た。建専連の政策提言活  
動を主導して具体的な提  
言をまとめて公表、建設  
キャリアアップシステム  
の普及拡大に向けた各種  
意見具申など先頭に立っ  
て行動。また、こうした  
取り組みを通じ、専門工  
事業界が当事者として実  
践する気風と意識を定着  
させる一方で、行政や元  
請けゼネコンなどは是非  
非々で向き合い、「もの  
言う専門工事業」として  
直言を惜しまなかった。

## (政府労災上乗せ補償+普通死亡保障)充実した制度 建団連共済会に入会しましょう!!

【建設業福利厚生制度】記名+無記名式

### (A型)総合共済制度

1口につき  
月会費1,100円で  
労災死亡930万  
一般死亡230万

(記名者・新規加入満66歳まで)  
(継続加入は70歳まで)

\*『経営事項審査制度』\*  
下請け担保で加点評価



安い会費で内容最高!

【建設業福利厚生制度】無記名式

### (B型)建設安全共済制度

1口 月会費300円で労災死亡500万  
おひとり様3口まで加入でき、労災死亡も1500万と安心

ますます充実魅力を増した  
最良の共済制度にぜひ入会を!

会員の皆様御紹介よろしくお願ひします。  
(詳しくはパンフレットをご覧ください。請求先は事務局宛)

(お問い合わせ・お申込み)

## 建団連共済会事務局

〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6-5 ホワイト薬院506号  
TEL 092(406)6776 FAX 092(406)6701

# 地整職員が専門工事体験 九州建専連協力で講習会



九州地方整備局は12月12日、職員向けの専門工事講習会「写真」を、久留米市の九州技術事務所で開催した。建設産業専門団体九州地区連合会（杉山秀彦会長）が協力し、屋外での職種体験や、建専連メンバーとの意見交換などを実施。専門工事の仕事を、その重要性について理解を深めた。

建設部の西津建設産業調整官は、地整職員が発注事務の中で直接関わるのは、多くの場合元請け業者だけだと指摘。その上で、「専門工事の皆さんが高い技術力を発揮することによって、品質を確保できている。その重要性を認識して行政に携わってほしい」と受講者に呼び掛けた。

（一社）日本型枠工事業協会九州支部の宮城泰治氏（株イワイ工業代表取締役会長）は、建設専門工事の現状と課題について講演。一人一人の生産性向上や、業界の構造的見直し、第一線で働く技能者の社会的地位を向上させることなどが求められるとした。屋外に出た受講者は、四つのグループに分かれ、約2時間間隔にわたり解体、嵩、型枠、鉄筋の仕事を体験した。最初は慣れない作業に戸惑い気味だったが受講者も、熟練技能者の指導を受けながらコツをつかみ、真剣な表情で実習に取り組んでいた。

体験のようすを見守った杉山会長は、「専門工事業が持つ技術、技能の重要性を分かってもらえたと思う。このような機会をつくってもらえたことは非常にありがたい」と語った。

その後、九州建専連と受講者の意見交換も行った。業界の現状について質問された建専連メンバーは、人手不足が依然として厳しい状況にあるなど説明。また、適切な工期設定、条件明示を求めるといった声も上がった。

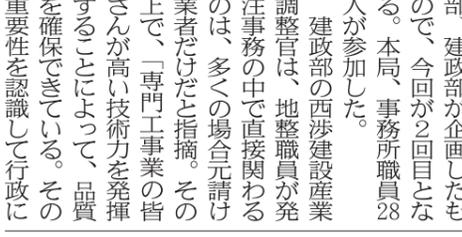
（一社）全国建設室内工事業協会九州支部（平木松美会長）は10月12日、「全室協九州支部移動理事會（長崎サミット）」を長崎市のホテルニュー長崎で開催した。九州・沖縄管内から会員、メーカーなど約50人が参加した。

九州支部の移動理事會は今回で4回目となる。開催のあいさつで平木会長は「今月からインボイス制度がスタートしたほか、来年4月から建設業にも時間外労働の上限規制が適用されるなど、取組むべき課題が多い。前を向いて取り組んでいく必要がある。また、九州は福岡を中心に一定の仕事を抱えているので、支部として厳しい状況にある注を排除してほしい」と語った。

開催県である長崎支部の坂口和久支部長は「若年者の確保・育成が重要な課題となっており、地元で働きたくなるような環境をわれわれがづくっていく必要がある」と語った。

西日本接業協同組合（松本一彦理事長、栄進工業㈱）は10月29日、「ZGPシステム新規・更新講習会」を福岡市東区の福岡県職業能力開発協会で開催した。写真

# 早急な処遇改善不可欠 日本型枠九州が秋季研修会



（一社）日本型枠工事業協会九州支部（池之上和夫支部長、会員数93社）は10月10日、「令和5年度秋季研修会」を長崎市のヒルトン長崎で開催、担い手確保に係る諸施策とともに、来年4月からの時間外労働の上限規制への対策などについて情報を共有した。本部の三野輪賢二会長も駆け付け、国交省が公表したレベル別年収の対応などについて説明した。

池之上支部長は「写真」で頭を悩ませているところだが、専門工事業も他産業では当たり前となっている現場の週休2日制や単価アップを図らなければならない。型枠職人がここ数年で2割ぐらい減ったのではないかと懸念し、それに加え時間外労働が規制されれば工期が間に合つかない心配だ。職人が人並みに生活できるように元請けなどに働きかけたい」とあいさつ。

特定外国人受入対策委員の加来勝之副支部長は、技能実習制度から特定技能制度に移行することから、本部の取り組みや変更点について説明した。また、本部の50周年事業実行委員の山口孝則副支部長は、開催日が令和7年5月29日に東京会

館で予定されていることを報告。各分会（7分会）の現状報告では、全体的に忙しい状況が続いており職人不足が深刻となっている。さらに原材料の高騰も拍車を掛け、工期遅延や建設途中でストップしている現場もあるという。入職者がいないため、技能実習生や特定技能の外国人でいるというが、他産業との賃金格差があり単価アップは不可欠としている。

同支部の会員数は、大分会で2社の新入会があり93社となった。この社内検定は、団体としての資格で受験資格は1級が経験年数8年以上、2級は3年以上で、いずれも玉掛け技能講習を修了した者となる。共に知識の有無を判断する学科試験と、コンクリートに見立てたケイ砂と骨材の混合物を使い、内部振動機で3分間打ち込み、それによって隙間から出てくる混合物の排出量をチェックするなどの実技試験「写真」と口述試験を行った。

1級と2級の実技試験の違いは、下の穴の大きさで排出量がいずれも1kg以上で合格となる。下の箱には鉄筋が組まれており、内部振動機で充填させることで下の穴から混合物が排出される仕組みとなっている。口述試験では、内部振動機の操作について、音の変化や

仕事量があるので、支部の会員が結束して安値受注を排除してほしい」と語った。

また、懇親会も行われ長崎支部の星永瑞輝本部理事は「きょうは大いに楽しんでいただき、横のつながりを広げてもらいたい」と歓迎の言葉を述べた。来賓を代表して本部の横山忠則会長は「若者に来てほしい業界から」と開催する予定

（一社）日本建設躯体工事業団体連合会（大木勇雄会長）は11月26日、九州では初めてとなる「日本躯体コンクリート打込み・締固め工」の社内検定試験を福岡市東区の福岡県職業能力開発協会で開催し、1級22人、2級4人の26人が受験した。

# コンクリート打込み・締固め工 日本躯体九州初の社内検定実施



（一社）日本建設躯体工事業団体連合会（大木勇雄会長）は11月26日、九州では初めてとなる「日本躯体コンクリート打込み・締固め工」の社内検定試験を福岡市東区の福岡県職業能力開発協会で開催し、1級22人、2級4人の26人が受験した。

この社内検定は、団体としての資格で受験資格は1級が経験年数8年以上、2級は3年以上で、いずれも玉掛け技能講習を修了した者となる。共に知識の有無を判断する学科試験と、コンクリートに見立てたケイ砂と骨材の混合物を使い、内部振動機で3分間打ち込み、それによって隙間から出てくる混合物の排出量をチェックするなどの実技試験「写真」と口述試験を行った。

1級と2級の実技試験の違いは、下の穴の大きさで排出量がいずれも1kg以上で合格となる。下の箱には鉄筋が組まれており、内部振動機で充填させることで下の穴から混合物が排出される仕組みとなっている。口述試験では、内部振動機の操作について、音の変化や

仕事量があるので、支部の会員が結束して安値受注を排除してほしい」と語った。

また、懇親会も行われ長崎支部の星永瑞輝本部理事は「きょうは大いに楽しんでいただき、横のつながりを広げてもらいたい」と歓迎の言葉を述べた。来賓を代表して本部の横山忠則会長は「若者に来てほしい業界から」と開催する予定

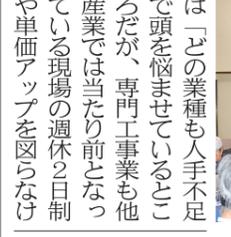
（一社）日本建設躯体工事業団体連合会（大木勇雄会長）は11月26日、九州では初めてとなる「日本躯体コンクリート打込み・締固め工」の社内検定試験を福岡市東区の福岡県職業能力開発協会で開催し、1級22人、2級4人の26人が受験した。

この社内検定は、団体としての資格で受験資格は1級が経験年数8年以上、2級は3年以上で、いずれも玉掛け技能講習を修了した者となる。共に知識の有無を判断する学科試験と、コンクリートに見立てたケイ砂と骨材の混合物を使い、内部振動機で3分間打ち込み、それによって隙間から出てくる混合物の排出量をチェックするなどの実技試験「写真」と口述試験を行った。

1級と2級の実技試験の違いは、下の穴の大きさで排出量がいずれも1kg以上で合格となる。下の箱には鉄筋が組まれており、内部振動機で充填させることで下の穴から混合物が排出される仕組みとなっている。口述試験では、内部振動機の操作について、音の変化や

仕事量があるので、支部の会員が結束して安値受注を排除してほしい」と語った。

# 職人の賃上げ実現 未来予想図描ける業界へ



建設産業専門団体連合会（石田正吾会長）は11月10日東京港区のニッショーホールで5年度全国大会を開いた。

建設産業専門団体連合会（石田正吾会長）は11月10日東京港区のニッショーホールで5年度全国大会を開いた。

建設産業専門団体連合会（石田正吾会長）は11月10日東京港区のニッショーホールで5年度全国大会を開いた。

建設産業専門団体連合会（石田正吾会長）は11月10日東京港区のニッショーホールで5年度全国大会を開いた。

建設産業専門団体連合会（石田正吾会長）は11月10日東京港区のニッショーホールで5年度全国大会を開いた。

建設産業専門団体連合会（石田正吾会長）は11月10日東京港区のニッショーホールで5年度全国大会を開いた。

建設産業専門団体連合会（石田正吾会長）は11月10日東京港区のニッショーホールで5年度全国大会を開いた。

建設産業専門団体連合会（石田正吾会長）は11月10日東京港区のニッショーホールで5年度全国大会を開いた。

建設産業専門団体連合会（石田正吾会長）は11月10日東京港区のニッショーホールで5年度全国大会を開いた。